

2015年度 第4回 研究倫理委員会 議事録

(文中敬称略)

日時： 7月1日(水) 午後6時00分～午後9時00分

会場： 3号館2階 カンファレンスルーム

出席者： 大浦智子、太田 進、武田洋平、田中英子、中島英司、西村知晃、室 敬之、室町律雄、
渡邊和子、岸 貴介

欠席者： 安倍基幸(OB)(出張)

審議事項

1) 研究倫理審査3件

齋藤貴之(講師)：北海道の昆布が支える日本の伝統文化 ―日本の食以外の昆布利用の実態とその歴史的背景に関する研究―

◇審議結果：一部修正を求め承認する。

大古拓史(助手)：サルコペニア評価に新たな包括的指標を加えた介護予防および、運動介入方法の検討

◇審議結果：再提出を求める。

大浦智子(講師)：訪問リハビリテーション実践チェックリスト使用による目標設定・プログラム立案の変化および効果に関する研究

◇審議結果：「変更」ではなく「新規」とし、一部修正を求め承認する。

(→表題を次の通り変更：リハビリテーションの目標設定・プログラム立案に関する質問紙調査)

2) 「研究終了・継続申請報告書」について

「終了」「継続」のほか、「変更」を加えることが承認された。

3) リハビリテーション学部「卒業研究概要一覧」について

書式の一部変更が承認された。対象はリハビリテーション学部の現4年生のうち、未提出の者。現3年生については別途検討(報告事項5を参照)。

4) 英語表記について

「the Research Ethics Committee of Seijoh University」をウェブサイトにも括弧書きで表記することが承認された。

報告事項

1) 研究倫理審査対象項目が確認された。

2) 今年度の許可証発行3件：久保金弥(動物実験)、木村大介(通常審査)、太田進(迅速審査)について、許可書が発行されたことが報告された。

3) 申請書類の改訂と学内サイトへの掲載、および、厚労省のサイト「研究倫理審査委員会報告システム」への議事録掲載

学内サイトおよび厚労省サイトへの議事録掲載が全て更新されたことが報告された。

4) リハビリテーション学部の卒業研究の倫理審査の件数報告

OT20 番、PT6 番までが提出されている。

- 5) リハビリテーション学部の卒業研究の倫理審査について
今後の卒業研究の倫理審査の仕方を検討する必要があるのではないかとの問題提起がなされた。
他大学の例や負担等を考え、今後検討することとした。
- 6) 国立研究開発法人科学技術振興機構の DVD「THE LAB 研究不正を避けるために」が紹介された。
- 7) 規程類の新旧対照表について
語句の修正等、変更点の新旧対照表が作成され、7 月の協議会及び戦略会議へ諮ることが説明された。
- 8) 動物実験施設外部検証の時期 今年度秋頃に実施する予定である。
- 9) CITI の e ラーニングの導入と修了証発行について
本学の倫理講習会の修了証発行のために、e ラーニングのカリキュラム修了証を各自で事務（室委員）に提出するよう、受講者各位に依頼する。

次回予定： 平成 27 年 8 月 5 日（水） 午後 6 時 00 分～

以上